

第 26 号 (平成 7 年度) 山口県内海水産試験場報告表題目録

(研究報告)

スズキ 0 歳魚の酸素消費量と成長に及ぼす水温の影響	木村 博	1
The Effect of Water Temperature on Oxygen Consumption and Growth of 0-age Japanese Seabass, <i>Lateolabrax japonicus</i>	HIROSHI KIMURA	
飼育試験における抱卵ガザミの生残と産仔状況	三村勝則	8
Surviving and Hatching Condition of the Incubatory Swimming Crab (<i>Portunus Trituberculatus</i>) in the Rearing Experiment	KATUNORI MIMURA	
ミルクイガイ・アカガイの養殖技術開発に関する研究-I	岩本哲二・藤村治夫	11
Study of Aquaculture on Two Japanese Bivalves, <i>Tresus keenae</i> (MACTRIDAE) and <i>Scapharca broughtonii</i> (ARCIDAE) - I	IWAMOTO, T. and H. FUJIMURA	
クルマエビ養殖池底砂の汚染の進行とクルマエビの分布	平岡三登里・桃山和夫	17
Accumulation of sulfide in the bed sand and distribution of the kuruma shrimp, <i>Penaeus japonicus</i> , in the culture pond	HIRAOKA, M. and K. MOMOYAMA	
1995年初夏下関漁港内に発生した有害渦鞭毛藻 <i>Gymnodinium</i> sp. の赤潮と漁業被害	馬場俊典・吉岡貞範・矢尾宏志・白木信彦	25
A harmful dinoflagellate <i>Gymnodinium</i> sp. which bloomed in Shimonoseki fishery port and killed captured fishes in 1995	BABA, T., S. YOSHIOKA, H. YAO. and N. SIRAKI	

(調査報告)

我が国周辺漁業資源調査	林 泰行・木村 博・三村勝則	31
トリガイ・アカガイ資源調査	三村勝則	33
トリガイ斃死実態調査	木村 博・秋山隆文・今井 厚	38
小型底曳網の袋網の目合とキシエビに対する漁具能率 (小型エビ類資源調査その1)	木村 博・林 泰行・秋山隆文・今井 厚・田井中 剛・若松 秀	44
エビ類と魚類の分離漁獲を目的とした小型底曳網の改良試験	木村 博・林 泰行・金井大成・原川泰弘・吉松隆司・渡邊 直・野村太郎・若松 秀	50
ヒラメ・マダイ・クロダイ放流効果調査	木村 博・林 泰行・三村勝則	62
メバル生態調査	藤村治夫・廣本正和・木村 博	87
山口県産農林水畜産物の食品素材化技術開発	木村 博・立石 健・岩本哲二	92
トラフグ親魚の採卵試験-III	立石 健	97
ウチムラサキガイの成熟度調査-II	井手尾 寛・立石 健・岸岡正伸	103
人工種苗によるアサリの放流技術開発試験-II	立石 健・井手尾 寛・岸岡正伸	107
ノリ養殖状況調査 (平成 7 年度)	岸岡正伸・岩本哲二・山本 翠	113
ノリ漁場栄養塩調査	廣本正和・藤村治夫	117
浅海定線調査	廣本正和・藤村治夫	125
1995年山口県におけるクルマエビ類の急性ウイルス血症 (PAV) の発生状況	桃山和夫・平岡三登里	151
クルマエビ養殖状況調査 (平成 6, 7 年度)	桃山和夫・平岡三登里	154
海産魚類養殖状況調査 (平成 7 年度)	平岡三登里・桃山和夫	156
赤潮調査 (1995)	馬場俊典・平岡三登里	160
1995年の赤潮発生状況	馬場俊典・桃山和夫・平岡三登里・秦 紳介	170

(抄 録)

スズキ・カレイ類・トラフグ天然資源調査	木村 博・林 泰行・三村勝則	175
スズキ漁業経済調査	木村 博・林 泰行・三村勝則	177
広域栽培資源放流管理手法開発調査 (マダイ)	林 泰行・木村 博・三村勝則	180
重要甲殻類栽培資源管理手法開発調査 (ガザミ)	三村勝則・木村 博・林 泰行	181
沿岸特定資源調査 (ガザミ)	三村勝則・藤村義宣・木村 博・林 泰行	182
第5回自然環境保全基礎調査 (干潟・藻場、海辺生物)	立石 健・岩本哲二・岸岡正伸・山本 翠・井手尾 寛	183
地域特産種量産放流技術開発事業 (対象種ナマコ)	岸岡正伸・立石 健	185
生態系保全型種苗生産技術開発事業 (アサリの遺伝的マーカーの検索および交配試験による遺伝的近交度の推移の追跡)	岸岡正伸・立石 健・井手尾 寛	186
放流したマナマコ種苗の行方	浜野龍夫・近藤正和・大橋 裕・立石 健・藤村治夫・末吉隆司	187
海産魚ウイルスに関する研究 (クルマエビのRV-PJ感染症)	平岡三登里・桃山和夫	188
クロアワビ大量斃死要因調査事業	桃山和夫・平岡三登里	189
クルマエビの“RV-PJ感染症”の診断方法 (英文)	桃山和夫・平岡三登里・井上 潔・木村武志・中野平二	190
養殖クルマエビの“RV-PJ感染症”原因ウイルスの精製	木村武志・中野平二・桃山和夫・山野恵祐・井上 潔	191
クルマエビ類の急性ウイルス血症 (PAV) の原因ウイルスPRDV (Penaeid rod-shaped DNA virus) (英文)	井上 潔・山野恵祐・池田訓茂・木村武志・中野平二・桃山和夫・小林 淳・宮脇成壽	192
海域特性による赤潮被害防止技術開発試験	馬場俊典・平岡三登里・桃山和夫	193
西部瀬戸内海海域における群体性タラシオシラの発生状況について	馬場俊典・桃山和夫・平岡三登里	195
重要貝類毒化対策事業	馬場俊典・桃山和夫・平岡三登里	196
貝類毒化予知手法の開発	馬場俊典・平岡三登里・桃山和夫	197
赤潮による魚介類へい死防止技術手法の開発試験	梶原忠彦・松井健二・馬場俊典・桃山和夫・平岡三登里	198

(資 料)

定置観測資料 (1995年1~12月)	林 泰行	199
職員現員表		200

第 27 号 (平成 8 年度) 山口県内海水産試験場報告表題目録

(研究報告)

山口県瀬戸内海における1995年の小型エビ類資源動態について……………木村 博……………	1
On The Annual Variation of Shrimp Resources in the Seto-Inland Sea off Yamaguchi Prefecture in 1995. ……………HIROSHI KIMURA	
ミルクイガイ・アカガイの養殖技術に関する研究－Ⅱ……………岩本哲二・藤村治夫……………	21
Study of Aquaculture on Two Japanese Bivalves, <i>Tresus keenae</i> (MACTRIDAE) and <i>Scapharca broughtonii</i> (ARCIDAE) - II……………IWAMOTO, T., and H. FUJIMURA	
硫化物の海水中における濃度変化とクルマエビに対する急性毒性……………平岡三登里……………	25
Decrement of Hydrogen Sulfide in sea water and Sulfide tolerance of the Kuruma shrimp (<i>Penaeus japonicus</i>) ……………MIDORI HIRAOKA	

(調査報告)

我が国周辺漁業資源調査……………林 泰行・木村 博・三村勝則……………	29
トリガイ・アカガイ資源調査……………林 泰行……………	32
ヒラメ・マダイ放流効果調査……………木村 博・林 泰行・三村勝則……………	35
ガザミ種苗のALC染色標識試験……………木村 博……………	43
ガザミの空中乾出耐性試験……………木村 博……………	44
山口県産農林水産物の食品素材化技術開発……………木村 博・岩本哲二・立石 健……………	45
トラフグ親魚の養成試験(電気分解装置を利用したトラフグのヘテロポツリウム駆除試験) ……………立石 健・田川英生……………	48
人工種苗によるアサリの放流技術開発試験－Ⅲ……………立石 健・井手尾寛・松野 進……………	53
ノリ養殖状況調査(平成8年度)……………岩本哲二・山本 翠・松野 進……………	62
モクズガニ種苗生産技術……………藤田義宣・末富敏夫……………	66
下関・山陽地区、干潟域のアサリ分布調査……………藤村治夫・廣本正和……………	71
ノリ漁場栄養塩調査……………廣本正和・藤村治夫……………	77
浅海定線調査……………廣本正和・藤村治夫……………	85
内海東部海域定点観測調査……………廣本正和・藤村治夫……………	111
海産魚類養殖状況調査(平成8年度)……………平岡三登里・桃山和夫……………	117
1996年山口県におけるクルマエビ類の急性ウィルス血症(PAV)の発生状況 ……………桃山和夫・平岡三登里……………	120
赤潮調査(1996)……………馬場俊典……………	123
1996年の赤潮発生状況……………馬場俊典・桃山和夫・平岡三登里・秦 伸介……………	134
重要貝類毒化対策事業調査……………馬場俊典・平岡三登里・桃山和夫・齋藤秀郎・野村太郎……………	138

(抄 録)

資源管理型漁業推進総合対策事業管理計画策定調査	木村 博・林 泰行・三村勝則	143
放流資源共同管理型栽培漁業推進調査 (クルマエビ)	林 泰行・木村 博・三村勝則	144
重要甲殻類栽培資源管理手法開発調査 (ガザミ)	三村勝則・木村 博・林 泰行	145
沿岸特定資源調査 (ガザミ)	三村勝則・藤田義宣・木村 博・林 泰行	146
日本の希少な野性生物に関する基礎資料 (Ⅲ) Ⅱ. 海産魚類 4. シロアマダイ	林 泰行	147
地域特産種量産放流技術開発事業 (対象種ナマコ)	松野 進・立石 健	148
平成8年度生態系保全型種苗生産技術開発事業		
(アサリの遺伝的マーカーの検索および交配試験による遺伝的近交度の推移の追跡)		
	松野 進・立石 健・井手尾寛	149
地域特産種量産放流技術開発事業 (アサリ)	立石 健・松野 進	150
山口県におけるアサリの人工種苗生産と中間育成	立石 健・井手尾寛・岸岡正伸	152
漁場保全対策推進事業調査	廣本正和・藤村治夫	153
海況情報収集迅速化システム開発事業	廣本正和・藤村治夫	156
ヨシエビ稚エビのPAVによる大量死 (英文)		
	桃山和夫・平岡三登里・井上 潔・木村武志・中野平二・安井 稔	158
5種類の甲殻類幼生に対するバキュロウイルス性中腸腺壊死症ウイルス		
(B-MNV)の感染性 (英文)	桃山和夫・佐野徳夫	159
PCR法によるPRDVの検出		
	木村武志・山野恵祐・中野平二・桃山和夫・平岡三登里・井上 潔	160
クロアワビ大量斃死要因調査事業	桃山和夫・平岡三登里	161
海産魚ウイルスに関する研究 (クルマエビのPAV)	平岡三登里・桃山和夫	162
海域特性による赤潮被害防止技術開発試験	馬場俊典・平岡三登里・桃山和夫	163
貝類毒化予知手法の開発	馬場俊典・平岡三登里・桃山和夫	165
赤潮による魚介類へい死防止技術手法の開発試験		
	梶原忠彦・松井健二・馬場俊典・桃山和夫・平岡三登里	166
(資 料)		
定置観測資料 (1996年1~12月)	林 泰行	167
職員現員表		168

第 28 号 (平成 9 年度) 山口県内海水産試験場報告表題目録

(研究報告)

1997年徳山湾で発生した <i>Alexandrium catenella</i> 赤潮とアサリの毒化馬場俊典・桃山和夫・平岡三登里・岡田知久.....	1
Relationship between the cell density of dinoflagellate <i>Alexandrium catenella</i> and accumulation of PSP in short-necked clam in Tokuyama Bay in 1997 Toshinori BABA, Kazuo MOMOYAMA, Midori HIRAOKA and Tomohisa OKADA	

(調査報告)

我が国周辺漁業資源調査	林 泰行・三村勝則・木村 博.....	9
平成 9 年度資源管理型漁業推進総合対策事業管理計画策定調査	木村 博・林 泰行・三村勝則.....	12
ヒラメ・マダイ放流効果調査	木村 博・林 泰行・三村勝則.....	30
トリガイ・アカガイ資源調査	木村 博.....	38
農林水産物の食品素材化技術の開発研究 (水産資源の評価)	木村 博・安成 淳.....	42
ミルクイガイ・アカガイの養殖技術に関する研究 - III	高見東洋・岩本哲二・金井大成・原川泰弘・河村和寛.....	50
トラフグ親魚の養成試験 各鰭に及ぼす歯切り処置効果	高見東洋.....	56
トラフグ親魚の採卵試験 - IV 養成親魚の採卵前後における肥満度の変化	高見東洋.....	59
人工種苗によるアサリの放流技術開発試験 - IV	中野義久・松野 進・立石 健・高見東洋.....	62
アサリの中間育成試験 - I (餌料別比較試験)	中野義久・松野 進.....	72
アサリの中間育成試験 - II (水槽や収容容器の比較試験)	松野 進・中野義久.....	75
平成 9 年度ノリ養殖状況調査	安成 淳.....	78
壇紫菜の養殖試験	安成 淳.....	82
魚類によるノリ葉体食害試験	安成 淳.....	84
厚東川河口域浮き流しノリ養殖漁場環境調査	安成 淳.....	87
ノリ漁場栄養塩調査	廣本正和・立石 健.....	92
浅海定線調査	廣本正和・立石 健.....	100
内海東部海域定点観測調査	廣本正和・立石 健.....	126
重要貝類毒化対策事業調査	馬場俊典・岡田知久・天社博之.....	132
赤潮調査 (1997)	馬場俊典.....	137
1997年の赤潮発生状況	馬場俊典・桃山和夫・平岡三登里・秋山隆文.....	148

(抄 録)

重要甲殻類栽培資源管理手法高度化調査報告書

.....木村 博・三村勝則・林 泰行・藤田義宣・末富敏夫.....	155
沿岸特定資源調査 (ガザミ)	三村勝則・木村 博・林 泰行..... 156
放流資源共同管理型栽培漁業推進調査 (クルマエビ)	林 泰行・木村 博・三村勝則..... 157
地域特産種量産放流技術開発事業 (対象種マナマコ)	松野 進・中野義久..... 158
地域特産種量産放流技術開発事業 (アサリ)	中野義久・松野 進・高見東洋・角田信孝..... 160
平成9年度生態系保全型種苗生産技術開発事業 (アサリの遺伝的マーカーの検索および 交配試験による遺伝的近交度の推移の追跡)	松野 進・中野義久..... 162
漁場保全対策推進事業調査	立石 健・廣本正和・天社博之..... 163
帯紋型青色アサリの選抜試験とその遺伝様式の推定	岸岡正伸・立石 健・酒井治己・鬼頭 鈞・井手尾寛・松野 進..... 165
クロアワビ大量斃死要因調査事業(平成5～9年度)	桃山和夫..... 166
海産魚ウイルスに関する研究ークルマエビのPAVー	桃山和夫・平岡三登里..... 168
Histopathology of penaeid acute viremia(PAV) Kazuo Momoyama, Midori Hiraoka and Kiyoshi Inouye	桃山和夫・平岡三登里..... 169
海域特性による赤潮被害防止技術開発試験	馬場俊典・平岡三登里・桃山和夫..... 170
赤潮による魚介類へい死防止技術手法の開発試験	梶原忠彦・松井健二・馬場俊典・桃山和夫・平岡三登里..... 173
貝類毒化予知手法の開発	馬場俊典・平岡三登里・桃山和夫..... 174

(資 料)

定地観測資料	木村 博..... 175
職員現員表	176

第 29 号 (平成 10 年度) 山口県内海水産試験場報告表題目録

(研究報告)

山口県瀬戸内海におけるヒラメ人工種苗の放流効果について	……	檜山節久・木村 博	1
On Stocking Effectiveness of Flounder <i>Paralichthys olivaceus</i>			
Larva Release in the Seto-Inland Sea off Yamaguchi Prefecture.			
……………Setsuhisa Hiyama, Hiroshi Kimura			

(調査報告)

我が国周辺漁業資源調査	……	木村博・檜山節久・三村勝則	9
平成10年度複合的資源管理型漁業促進対策事業調査報告	……	木村博・檜山節久・三村勝則	13
ナシフグ資源・生態調査	……	木村 博	29
マダイ・ヒラメの放流効果調査	……	檜山節久・木村 博	41
トリガイ・アカガイ資源調査	……	三村勝則	49
平成10年度大島郡橘町地先トリガイ資源・生態調査			
……………		木村 博・馬場俊典・檜山節久・立石 健・多賀 茂	51
ミルクイガイ・アカガイの養殖技術に関する研究－Ⅳ			
……………		高見東洋・金井大成・原川泰弘・河村和寛	74
親クルマエビの養成試験－Ⅰ(産卵しない天然の抱卵親エビに関する試験)			
……………		松野 進・桃山和夫	79
小野田市高泊地先のハマグリ分布調査			
……………		中野義久・松野 進・高見東洋・天社こずえ・岡田知久	81
人工種苗によるアサリの放流技術開発試験－Ⅴ	……	中野義久・松野 進	83
平成10年度ノリ養殖状況調査	……	安成 淳	93
壇紫菜養殖試験Ⅱ	……	安成 淳	97
内水面関連調査研究			
(1)モクズガニ種苗生産試験	……	安成 淳	101
(2)モクズガニ放流調査	……	安成 淳・辻岡 修	104
(3)ペヘレイ放流追跡調査	……	安成 淳・辻岡 修	106
(4)ブラックバス等外来移入魚の生態調査(要約)	……	安成 淳・辻岡 修	110
山陽町埴生地先の潜堤干潟に大量発生したアサリについて			
……………		立石 健・木村 博・廣本正和・檜山節久・平岡三登里・三村勝則	112
佐波川河口干潟に大量に発生したアサリについて			
……………		立石 健・中野義久・平岡三登里・廣本正和	127
大海湾における水域環境の変遷と現状	……	立石 健・平岡三登里・廣本正和	131

ノリ漁場栄養塩調査	廣本正和・立石 健	138
浅海定線調査	廣本正和・立石 健	147
内海東部海域定点観測調査	廣本正和・立石 健	173
海産魚類養殖状況調査(平成9および10年度)	桃山和夫	179
クルマエビ養殖状況調査(平成8~10年度)	桃山和夫	185
1997年および1998年山口県におけるクルマエビ類の急性ウイルス血症(PAV)の発生状況	桃山和夫	188
重要貝類毒化対策事業調査	馬場俊典・岡田知久・天社博之	192
赤潮調査(1998)	馬場俊典	197
1998年の赤潮発生状況	馬場俊典・桃山和夫・平岡三登里・天野千絵	208
 (抄 録)		
重要甲殻類管理手法高度化調査(ガザミ)	三村勝則・木村 博・檜山節久・藤田義宣・末富敏夫	215
放流資源共同管理型栽培漁業推進調査(クルマエビ)	檜山節久・木村博・三村勝則	216
平成10年度浅海域複数種放流技術開発事業(二枚貝グループ)アサリ、ミルクイガイ、ウチムラサキガイ	高見東洋・中野義久・松野 進	217
平成10年度生態系保全型種苗生産技術開発事業(アサリの遺伝的マーカーの検索および 交配試験による遺伝的近交度の推移の追跡)	松野 進・中野義久	219
漁場保全対策推進事業調査	立石 健・廣本正和・多賀 茂・天社博之	220
保護水面管理事業調査	立石 健・藤井修生・門永圭史・藤村治夫・廣本正和	222
アサリ育成漁場の環境特性	石岡宏子・浜口昌巳・薄 浩則・立石 健・山本 翠・井手尾寛・岩本哲二	223
クルマエビ類の急性ウイルス血症(PAV)の原因ウイルスPRDVの不活化	中野平二・平岡三登里・鮫島守・木村武志・桃山和夫	224
海産魚ウイルスに関する研究(PAVの予防対策技術開発研究)	桃山和夫	225
PRDVの凍結保存と海水中での生存性(英文)	桃山和夫・平岡三登里・中野平二・鮫島守	226
アワビ属稚貝の筋萎縮症による大量死	桃山和夫・中津川俊雄・由良野範義	227
貝毒原因プランクトン等実態調査	馬場俊典・平岡三登里・桃山和夫	228
赤潮による魚介類へい死防止技術手法の開発試験	梶原忠彦・松井健二・馬場俊典・桃山和夫	229
海域特性による赤潮被害防止技術開発試験	馬場俊典・平岡三登里・桃山和夫	230
 (資 料)		
定地観測資料	木村 博	233
職員現員表		234